

No.552

2

February 2009

◎ 広報

波佐見

活力と潤いにみちた陶磁と緑のまち・波佐見

C
O
N
T
E
N
T
S

特集1 食育 ◎ P2

特集2 波佐見一周駅伝大会 ◎ P6

役場からのお知らせ・町政に対するご意見紹介 ◎ P8

みんなのひろば ◎ P10

スポーツ・波佐見高校だより ◎ P12

病気一口メモ ◎ P13

暮らしと情報 ◎ P14

社協だより ◎ P16

「辺血のひとりごと」・お知らせ ◎ P18

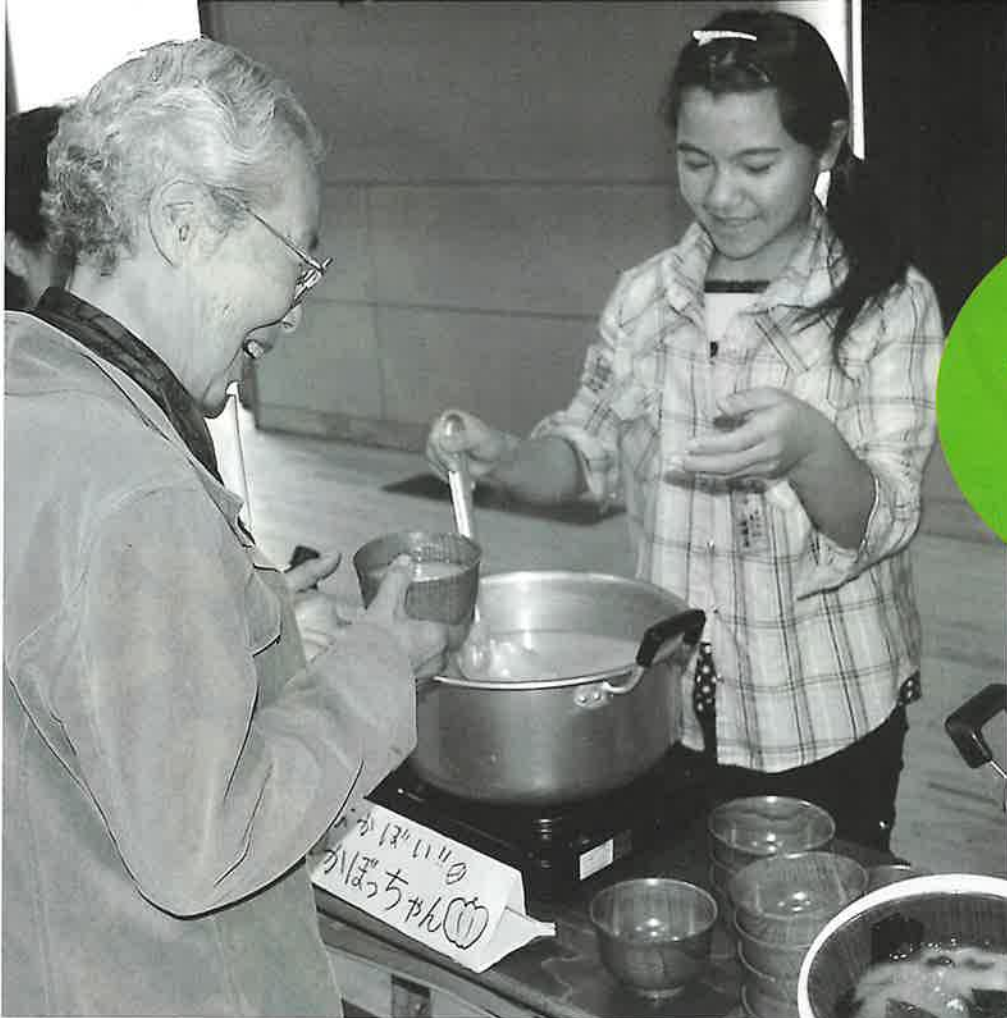
窓 ◎ P19

暮らしのカレンダー ◎ P20

料理って楽しいね。

2月1日、南小学校PTA母親委員会の主催で、親子クッキング教室が開催され、子どもたちも食材を切ったり、試食をしたりして、楽しく料理を作りました。





食

育

—— 良く食べ 心も体も元気に ——

『食育』。様々なところでよく耳にする言葉です。『食育』という言葉は、「知育」「徳育」「体育」「才育」と並ぶ五育の一つとして明治時代から使われていました。

『食育』とは、生きるうえでの基本であって、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と選択する力を養い、健全な食生活が実践でき、食に感謝する心を持つ人を育てることです。単純に考えると「良い食生活習慣で、健康な心と体を作れる人になろう」ということなのです。

なぜ、最近になって『食育』が必要といわれるのでしょうか。

それは、栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加、食べ残しなど「食」を大切にする心の欠如、肥満や生活習慣病の増加、欠食や行き過ぎたダイエット、伝統ある食文化の喪失など、食生活の乱れによる体や心のトラブルが問題となってきたからです。

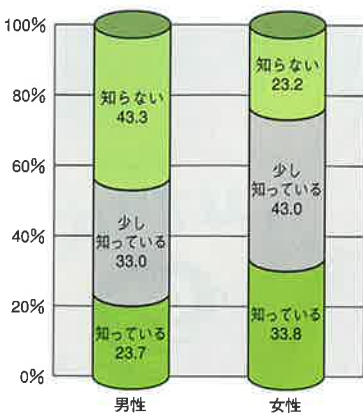
「子どもの頃の食習慣は、生涯にわたる食習慣をつくる」といわれるように、「食育」の主役は次世代を担う子どもたちです。「食」は、子どもたちの心身の成長と人格の形成に

大きな影響を与えます。食卓に並んだ食材に興味を持ち、豊かな自然で育つ命を学び、知識だけではなく、心を育てることが重要なのです。

『食育』は生涯を通じた取り組みであり、大人と子どもが一緒に実践することが一番大切です。そのためには、大人が今のライフスタイルを見つめ直し、もっと『食育』に関心を持つ必要があります。

平成19年度に『健康はさみ21 波佐見町健康増進・食育実践計画』を策定した際、「食育」についてご存知ですか」と、20～69歳の年代別男女1000人にアンケートをした結果、左のグラフのとおり『食育』について知っている人は全体の2～3割、男性で4割、女性で2割が知らないという結果でした。

『食育』についてご存知ですか？



今月号では、さまざまな食育の取り組みをご紹介します。未来を担う子どもたちに何を伝えていくか、考えていきましょう。

「南小が発する食育」は子どもたちから地域へ



『食育』に力を注いでいる南小学校の宮崎浩郁校長先生(右)と福田泰三先生

町内各小中学校で積極的に行われている『食育』への取り組み。その中でも、特に『食育』に力を注いでいるのが南小学校(以下南小)です。

南小は、『生ごみリサイクル』、17項目の食チエックシート、みそ汁づくり、甘芋納豆づくり、食育修学旅行、食育祭、弁当の日、おにぎりの日』など数々の食育プログラムを持ち、雑誌等にも取り上げられている。県内有数の学校で、「強制ではなく、子どもたちが楽しんで自発的に取り組む、感謝の心が持てる食育」をモットーに活動しています。

この、一歩踏み込んだ『食育』に取り組んでいる南小の宮崎浩郁校長先生と、6年1組担任の福田泰三先生にお話を伺いました。

『おにぎりの日』は『みんなが笑顔になる日』

数々の食育プログラムの中でも、南小の特徴が『おにぎりの日』。この『おにぎりの日』は、「低学年も可能で、高学年は具を工夫できる」、「シンプルさの中に奥深さがある」など『おにぎり』だからこそある特長を活かした取り組みです。

『おにぎりの日』は始まったばかりの取り組みで、初めての実践は6年生。総合的な学習の時間に「オリジナルおにぎりづくり」を計画し、昨年10・11月の2回開催されました。「2回目には、おばあちゃんから聞いた、コンビニで取材したりと子どもたちも燃えていました」と福田先生は話します。

この『おにぎりの日』が全校児童と保護者に広がりを見せたのが、11月に行われた総合的な学習の発表会である「南っ子ふるさと祭り」。

「この日に、『家庭でつくろうおにぎりの日』を全校に広げようと6年生は大張り切りでした」と福田先生。

親子でにぎる「おにぎりの日」「おにぎり」とは「おむすび」「御結び」ともいいます。誰かのために、誰かが喜ぶためにむすんでいくのです。誰かとは、あなたにとって大切な人のことです。



そして、おにぎりの楽しさを知っている6年生が給食の時間に全クラスを訪問し、「祭りの当日には家族でおにぎりをつくろう」と自分達で作ったおにぎりレシピ集を配ってアピール。6年生の感想文もその中に添えて、保護者にもさりげなくアピールしたいといいます。

その結果、祭り当日にはどの家庭も親子で『おにぎりづくり』を実践。6年生が子どもたちへインタビューすると「お母さんから『ありがとう』と言われてうれしかった」などの感想が返ってきたと話します。福田先生が子どもたちに「一言で『おにぎりの日』をたとえるときたら?」と聞くと、『みんなが笑顔になる日』と返ってきたそうです。

「この答えに『おにぎりの日』の意義が凝縮されています。『おにぎりの日』は、子どもたちの力で成し遂げられた取り組み。おにぎりの中にある家族とのドラマや温かさを感じれること、創意工夫の楽しさを味わえる『おにぎり』だからこそその効果ですね」と笑顔で福田先生は話してくれました。

「南小が発する食育」の今後

学校と家庭、そして地域ぐるみの『食育』を実践している南小。12月に開催された南小食育祭では、子どもたちが「食」について調べたことを生き生きと発表したり、有機野菜を生産している時有機百笑会のサツマイモを使って、子どもたちが作った「芋の甘納豆」を来場者に自ら販売するなど、町内農業関係者とも連携した活動が行われています。



▲芋の甘納豆「甘かっちゃん」を南小食育祭で販売。パッケージも子どもたちの手作り。

「今後は、南小から地域全体を盛り上げ、町おこしを!」と南小から発する『食育』の次のステップとして、「波佐見町の伝統や良さを活かして、陶・農・食が連携した食育をしていきたい」と話す校長先生と福田先生。「炎まつりで、保護者やおじいちゃん・おばあちゃんと子どもたちが一緒に作った料理を食べてもらおうのもいい」とアイデアは尽きません。

これまでの食育プログラムの経験と知識を活かして、「命」と「食」の大切さを学び、体・心・頭をすこやかに成長させる取り組みを行う南小の更なる挑戦は続きます。

学校給食は生きた教材

みそ汁を見直そう！



波佐見町立学校給食センター
栄養教諭 貞松明子さん

波佐見町立学校給食センターで、小中学校の1日分約1560食の給食が愛情込めて作られています。その中で、食の指導と給食管理を一体とし、学校と家庭、地域を『食育』で結ぶコーディネーター役として県から派遣されている、栄養教諭貞松明子さんにお話を伺いました。

楽しめる給食と給食訪問

貞松さんが献立を作るときに第一に気を配るのが、栄養のバランス。「家庭で取りづらい栄養を取れるよう工夫しています」と貞松さん。そのほか、年に一回6年生のみの「バイキング給食」、1月には波佐見の郷土料理の給食もあり、楽しめる給食が行われています。



▲栄養もしっかり考えられた楽しいバイキング給食

また、貞松さんは、食物の栄養や食べることの大切さを子どもたちに伝えるため、からくり絵本や紙芝居、クイズなどを使って、給食の時間に小学生から中学生までの幅広い年代を訪問し、わかりやすい『食育』にも取り組んでいます。

「学校給食は、体に良い食事のお手本のようなもの。健康に過ごすための食事を子どもたちに学んでほしい」と貞松さんは話します。



▲中央小の給食訪問。子どもたちも真剣。



▲各グループで校長先生やお客さんを囲んで、楽しいバイキング給食（東小）

みそ汁を見直そう！

貞松さんが強調するのが『毎日のみそ汁』。「朝のみそ汁は、体の毒消しといわれるように、『みそ』自体にたくさんの栄養素が含まれています。食物繊維もたっぷり、疲れを取り除いてくれる、がん予防にもなるといったすばらしい効果があります」と貞松さんは話します。

戦国時代の武将も、『みそ』を戦の必需品として重宝し、昔から日本人が健康でいられたのも、『みそ』のおかげだといわれています。

「もう一度、みそ汁を見直し、朝食を毎日食べよう」と貞松さんは家庭に強く呼びかけています。

家族団らんの中で

親から子へ伝えてほしい



波佐見町生活改善推進協議会
会長 松尾ヒサ子さん

「私たちの健康は、私たちの手で」を合言葉に、町内各地区から集まった168人で組織されている食生活改善推進協議会。「食改」の呼び名で親しまれている推進員のみなさんは、乳幼児から高齢者までの幅広い世代の健康づくりのため、バランスのとれた食事指導などを行っています。この「地域の栄養士」といえる存在である「食改」会長の松尾ヒサ子さんにお話を伺いました。

力を注いでいること

今、「食改」の活動として力を注いでいるのが、波佐見高校3年生を対象に開催している「ヘルスサポート21事業」。この事業では、「食」に関する講義、調理実習を通して、『自分で栄養ある食材を調理して、自分で食べること』を身につけてもらいたい」との願いで行われています。

「自分で作る自信がついた」など、高校生からも大変好評だと松尾さんは笑顔で話します。

朝食抜きの子どもたち

朝食抜きで登校する子どもたちにも、松尾さんは危機感を抱いています。「朝食抜きでは、夕食から半日以上も脳にわたるべき栄養がとれていない状態で、学習や運動に集中できない」と話すように、朝食は1日を元気に過ごすため、3食の中で最も大切な食事といわれています。「親子一緒に朝食を食べ、一日のスタートを切ることが重要」と松尾さんは話してくれました。

『お手伝い』の中から食育を

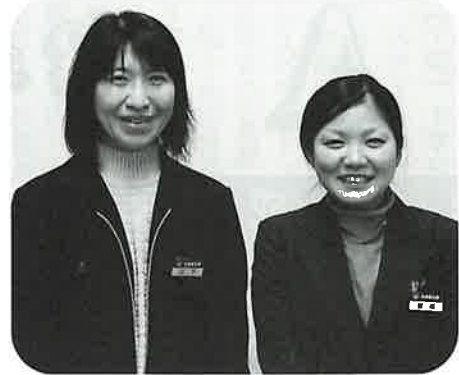
「食育」について松尾さんは、「家で作ったものを家族で食事し、家庭の味というものを感じてほしい。親と子どもが一緒に買い物をしたり、料理を作ること『お手伝い』の中から食への関心や食べることの楽しさ、良い食材を選ぶ力を伝え、育ててほしい」と話します。

『お手伝い』その言葉を松尾さんは「親の手から子に伝えること」と考え、「お手伝い」の中から親子で食育を」と願っています。



▲食改推進員実践講座の様子。実践を通して技術や知識を身につけています。

『食育』への第1歩
家庭から始めよう



役場保健衛生課 健康増進係
管理栄養士 山下祐子（左）、澤岷綾乃

町民の食生活改善と健康増進を図るため、役場には2人の管理栄養士が勤務しています。

管理栄養士には、栄養士の資格を持ち、合格率15〜20%という国家試験を合格した人しかありません。

管理栄養士は、栄養士よりもさらに高度な知識と技術を持っており、幅広い年代の身体状況や栄養状態、発達段階に応じた健康増進を図るため、2人は食事と健康の関係について必要な栄養指導を行っています。

栄養のプロとして、生きていくために誰が必要とする『食』の健康を第一に考え、日々奮闘している、山下祐子管理栄養士と澤岷綾乃管理栄養士に話を聞きました。

家庭で取り組む食育

2人が家庭で取り組んでほしいと願っているのが、家庭での野菜栽培と食文化の伝承。「食育」の第1歩は「食」への興味や関心です。旬の野菜を家族で栽培し、収穫し、食べる、この一連の流れが、子どもたちの「食」への興味や関心を増すきっかけになると思います。それに、昔から伝わる和食を食卓に並べ、その良さを見直して、日本の食文化を伝承してもらいたい」と山下管理栄養士は話します。

また、「食」への感謝や親が子どもに見本を見せることは、すぐに取り組める『食育』。「いただきます」や『ごちそうさま』、食事を日記につけて家庭の食事調査をする、親の背中を見て子どもが正しい食習慣を身に付けられるような見本を」と澤岷管理栄養士は話します。

『食育の町』を目指して

今後の取り組みとして考えているのが、大人への『食育』として献血ができなかった方への栄養指導と町民総参加の食育祭の開催。「善意を大切にして、次回は献血ができるように食生活の見直しをすすめて、盛り上がりつつある食育活動を町全体に広げるため、子どもから大人までが参加できる食育祭を開催したい。学校・行政・団体・食育の町」をつくらせていきたいですね」と2人は話していました。

作ってみよう郷土料理！

『栄養満点で、子どもたちと一緒に作れて食べやすい』ように管理栄養士が考えた食育健康レシピを紹介します。家庭でぜひ実践してみましょう。

★だご汁★

材料 (4人分)	A	小麦粉	100g	大根	80g	鶏肉	80g
		スキムミルク	30g	にんじん	40g	ねぎ	20g
だし	B	熱湯	適宜	ごぼう	40g	生姜	適宜
		いりこ	20g	かぼちゃ	80g	味噌	50g
		水	4カップ				



▲栄養満点！おにぎり、だご汁、蒸しパン
ほうれん草のごま和え、いちご

- 作
り
方
- ①水4カップに、いりこを加え火にかけ、だしをとる。
 - ②大根、にんじん、ごぼうは食べやすい大きさのそぎ切りにする。
 - ③かぼちゃは食べやすい大きさの角切り、ねぎは小口切りにする。
 - ④いりこを取り出しただし汁の中に、鶏肉と②とかぼちゃを入れ、煮たってきたらアクをよくとる。
 - ⑤Aを合わせ、熱湯でこね（耳たぶくらい）、団子を作り④の中に入れる。
 - ⑥煮たったら味噌で味付けをする。汁碗につぎ、ねぎとおろし生姜（好みで）をてんもりにする。
※おろし生姜は、だご汁の中に混ぜてもよい。

★ほうれん草のごま和え★

材料 (4人分)	ほうれん草	150g	A	すりごま	大さじ2
	白菜	100g		醤油	大さじ1
				砂糖	大さじ1
				料理酒	大さじ1

- 作
り
方
- ①ほうれん草と白菜は塩茹でし、適宜切る。
 - ②Aを混ぜ合わせ、①と和える。

★蒸しパン★

材料 (4人分)	ホットケーキミックス	100g	さつまいも	50g
	牛乳	50ml	卵	1ヶ
	にんじんペースト	50g	アルミカップ	8ヶ

- 作
り
方
- ①さつまいもは、皮つきのまま1cm角切りする。
 - ②ボールに卵を割りほぐし、材料すべてを加えて混ぜる。
 - ③アルミカップに移し、蒸気の上があった蒸し器で15分ほど蒸す。

第53回波佐見一周駅伝大会

宿 A 18年ぶりの



総 合 成 績			
優勝	宿 A	1. 42' 26"	昨年 4 位
1区	大島 和浩	14' 20"	
2区	小林 政人	9' 02"	
3区	谷口 潤吉	16' 22"	
4区	惠美 和哉	16' 35"	
5区	山添 一央	18' 41"	
6区	内海 健	13' 57"	
7区	森浦 好雄	13' 29"	
準優勝	協 和 A	1. 46' 19"	昨年 3 位
(永田寛見、鷗池恒介、渋江将利、山口英次、川田康平、里山達成、渋江利之)			
3位	乙 長 野 A	1. 46' 31"	昨年 5 位
(宮原明寛、吉崎翔、平野一仁、古達隆樹、長谷和樹、柳本彰久、石部浩司)			
4位	村 木 A	1. 47' 19"	昨年 2 位
5位	岳 辺 田 A	1. 47' 33"	// 10位
6位	湯 無 田 A	1. 49' 37"	// 1位
7位	鬼 木 A	1. 50' 09"	// 6位
8位	折 敷 瀬 A	1. 52' 00"	// 7位
9位	川 内	1. 53' 30"	// 16位
10位	永 尾 A	1. 53' 33"	// 17位
11位	稗 木 場 A	1. 53' 38"	// 12位
12位	野 々 川	1. 54' 01"	// 8位
13位	井 石 A	1. 54' 08"	// 11位
14位	三 股	1. 54' 26"	// 14位
15位	宿 B	1. 55' 18"	// 15位
16位	宿 C	1. 56' 37"	// 31位
17位	稗 木 場 B	1. 56' 39"	// 22位
18位	田ノ頭 A	1. 58' 08"	// 13位
19位	協 和 B	1. 59' 36"	// 18位
20位	乙 長 野 B	2. 01' 23"	// 19位
21位	平 野	2. 01' 28"	// 24位
22位	永 尾 B	2. 01' 35"	// 27位
23位	折 敷 瀬 B	2. 03' 22"	// 25位
24位	岳 辺 田 B	2. 03' 35"	// 30位
25位	村 木 C	2. 04' 17"	// 23位
26位	鬼 木 B	2. 04' 19"	—
躍進賞	中 尾	2. 04' 47"	昨年 37位
27位	村 木 D	2. 04' 58"	—
28位	小 樽	2. 05' 20"	昨年 21位
29位	稗 木 場 C	2. 05' 20"	// 26位
31位	村 木 B	2. 05' 48"	// 20位
32位	皿 山	2. 07' 21"	// 29位
33位	金 屋	2. 08' 36"	// 9位
34位	志 折	2. 09' 06"	// 28位
35位	田ノ頭 B	2. 09' 27"	—
36位	甲 長 野	2. 09' 30"	昨年 40位
37位	岳 辺 田 C	2. 10' 39"	—
38位	井 石 B	2. 12' 01"	昨年 32位
39位	湯 無 田 B	2. 12' 35"	// 34位
40位	乙 長 野 C	2. 13' 16"	// 33位



第53回波佐見一周駅伝大会が、波佐見中学校をスタート・ゴールとする7区間、30.2kmのコースで開催され、各地区から総勢40チーム280名が出場しました。

時折冷たい雨が降り、選手にとってコンディション調整が難しいレースでしたが、家族や地域の方々から温かい声援を受け、思いを込めた一本のタスキをつないで健脚を競いしました。レースは、前半(1〜4区)で3位、後半(5〜7区)で1位と巻き返した宿Aが、平成3年に初優勝して以来、18年ぶり2度目の優勝に輝きました。

躍進賞は、前年の37位から今回27位と10位順位を上げた中尾が獲得しました。



優勝した宿Aチーム

区 間 賞			
区 間	選 手 名	チ-ム名	タイム
1区 (4.0km)	宮原 明寛	乙長野A	14' 11"
2区 (2.4km)	廣瀬 哲也	村 木A	8' 30"
3区 (4.4km)	山口 拓也	湯無田A	14' 55"
4区 (5.2km)	惠美 和哉	宿 A	16' 35"
5区 (5.8km)	執行 善文	岳辺田A	17' 30"
6区 (4.4km)	内海 健	宿 A	13' 57"
7区 (4.0km)	森浦 好雄	宿 A	13' 29"

※一は昨年出場なし

※閉会式の成績発表では、田ノ頭Aが躍進賞と発表しましたが、中尾の誤りでした。大変ご迷惑をおかけしました。

レース経過

(敬称略)

【1区】中学校〜御堂 (4 km)

スタートの号砲とともに、40チームの選手が一斉に飛び出す。中高校の馬力ある選手が集まる1区で、トップに出たのが宮原明寛(乙長野A)。わずかの差で続く永田貴晃(協和A)を振り切ってタスキをつないだ。

その後、千代田太平(稗木場B)、大島和浩(宿A)、村川純平(川内)が続ぎ、トップと5位までの差が、わずか10秒以内という混戦だった。

【2区】御堂〜三股入口 (2・4 km) スピード勝負となる最短期間の2区でも、序盤から吉崎翔(乙長野A)と鶴池恒介(協和A)の激しいトップ争いが続いた。両者は同級生の21歳。互いに負けられないという意気込みが伝わる。レース終盤まで決着がつかず、3区の中継地点へ。僅差で吉崎(乙長野A)がトップ、

鶴池(協和A)がほぼ同タイムの2位でタスキをつないだ。3位に、小林政人の走りで宿Aが4位から浮上した。順位の変動が激しいこの区間では、区間賞の走りを見せた廣瀬哲也(村木A)の16人抜きが快走があった。



▲激しいトップ争いをした吉崎翔(乙長野A)と鶴池恒介(協和A)

【3区】三股入口〜中尾バス停 (4・4 km)

心臓破りの中尾坂が待ち受け、強靱な精神力と脚力が勝負となる区間。ここを得意とする洪江将利(協和A)が、序盤でトップに出ると、スパートをかけて中尾坂を一気に駆け上った。その後、2位に平野一仁(乙長野A)、3位に谷口潤吉(宿A)、4位に11位から順位を上げた執行健司(永尾A)が続いた。

また、山口拓也(湯無田A)の33位から13位へ急浮上する20人抜きの驚異的な走り、林田宗佳(井石A)の19位から6位へ浮上する猛追もあった。



▲20人抜きを見せた山口拓也(湯無田A)

【4区】中尾バス停〜舞相 (5・2 km)

鬼木から舞相まで駆け下りる区間。タスキを受けた山口英次(協和A)がトップを守り、そのままゴール。1分4秒差で古達隆樹(乙長野A)が2位、恵美和哉(宿A)の区間賞の力走

【5区】舞相〜平野 (5・8 km)

後半の再スタートで、各チームのエース級が集まる激戦区間。ここでトップに出たのが執行善文(岳辺田A)。昨年惜しくも区間2位だった悔しさを胸に、持ち味のスピードで区間賞を手にしてタスキをつないだ。続いて17秒差で2位に村川恵太(川内)、井手祐樹(湯無田A)が連覇へ望みをつなぎ3位に入った。前半1位の協和Aと、前半2位の乙長野Aは同タイムで7位と若干出遅れた。



▲前半を1位でゴール山口英次(協和A)



▲激戦の5区で区間賞執行善文(岳辺田A)

【6区】平野〜長野入口 (4・4 km)

5区から6位でタスキを受け取った内海健(宿A)が、中盤で一気に5人を抜いてトップへ。その後ろに、5位から2位に順位を上げた松本朋之(村木A)が続いた。優勝へ望みをつなぐ協和Aは8位、乙長野Aは5位へ浮上した。

【7区】長野入口〜中学校 (4 km)

沿道からの声援を受け、トップでタスキを受け取った森浦好雄(宿A)は、総合優勝の期待に応えるべく、区間賞の走りでも後半を1位でゴール。

総合優勝は、前半1位との差が約1分で、後半をダントツで走り抜けた宿A。今大会の宿Aは、昨年の湯無田Aの優勝記録を約1分半上回る強さだった。総合準優勝は、前半1位だったが後半で惜しくも7位だった協和A、3位に前半2位で後半6位の乙長野Aの順となった。

出場記念表彰

※敬称略

- ▼50回出場者 小林 政人 (宿)
- ▼40回出場者 井村 好幸 (井石)
- ▼25回出場者 田中 和利 (鬼木)
- 山田 秀徳 (折敷瀬)
- ▼20回出場者 楠本 秀征 (小樽)
- 福嶋 正雄 (宿)
- 堀池 浩 (宿)
- ▼15回出場者 信永 久頼 (乙長野)
- ▼10回出場者 富永 貴宏 (井石)
- 森山 和広 (鬼木)
- 田本 信秀 (皿山)
- 田中 昭則 (稗木場)
- 春口 孝一 (稗木場)

前人未到の50回出場！ 小林 政人さん(宿)



第3回大会から50回出場という偉業を達成し、これまで区間賞を取る活躍をしてきた小林さん。今大会も、2区で区間6位と63歳の今でもその実力は健在です。「50回出場という実感はなく、通過点だと思っています。体力の続く限り出場したいですね」と小林さんは力強く話していました。



役場の仕事紹介 ～ 教育委員会編 ～

教育委員会事務局は総合文化会館内にあり、教育総務係、社会教育係、文化財保護係（事務所は旧町公民館）を担当しています。また、給食センターは中学校の横にあり、町内各小中学校の給食を担当しています。

教育総務係

学校の管理や教育施設・設備の整備、教育補助事業、教育関係統計調査、児童生徒の転出入など学校教育に関する分野が主な仕事です。

その中でも、学校で過ごす子どもたちの安全を守るため、施設の改善など、特に学校の耐震化においては来年度中には耐震補強が完了する予定です。

教育補助では、幼稚園に通園している家庭（所得に応じて）、また経済的な理由で就学困難な家庭、遠距離通学者などへ補助を行っています。

社会教育係

生涯学習やスポーツ活動を推進するため、各種講座や大会、芸術文化公演を開催したり、図書館の充実などを図るとともに、各種団体との連携及び活動支援を行い、学校・地域・PTA等と連

携・融合し、あいさつ運動の推進、青少年の非行防止・事故防止、環境浄化活動を推奨しています。

また、すべての子どもたちを対象として、安全・安心な子ども活動拠点を設け、子どもたちと地域住民との交流活動等の取り組みを実施しています。

さらには、各種教室や会議、スポーツ、レクリエーションに総合文化会館や体育館、グラウンドなどを有効活用いただくため、利用申請の受付、整備などを行っています。

文化財保護係

太古の昔より、波佐見で生活していた人々が産み出した様々な文化遺産、文化財を守り、その素晴らしさを世の中に広め、後世に伝えていくことが文化財保護係の業務です。

文化財は、古文書や古い建物などの「有形（郷村記・今里酒造酒蔵）」、芸能などの「無形（人形浄瑠璃・浮立）」、農具などの「民俗」、土に埋もれた「埋蔵（窯跡）」、自然物の「天然（庄屋跡のイチゴウ）」に大きく分かれます。

町内には国指定、国登録や県指定、町指定をはじめ大切な文化財

がたくさんあり、その保護には町民皆様のご協力が不可欠です。で、今後もよろしく願います。

学校給食センター

給食センターは所長1名、栄養教諭1名、学校栄養職員1名、給食調理員11名（うち臨時職員8名）、米飯給食臨時職員1名（週3回）、自動車運転員1名（民間委託）の計17名で学校給食業務を行っています。

学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため、学校給食センター運営委員会（委員14名）を毎年2回開催し、学校給食の企画運営に関する審議をしています。

また、献立委員会を毎月開催し、献立の反省と給食内容の検討を行っています。特に衛生管理を徹底し、心を込めたおいしくて栄養満点の給食（約1560食/1日）作りに努め、週に5回（米飯給食3回、パン給食2回）各小中学校に届けています。

近年、食の安全・安心が疑問視され、地産地消の声が高まる中、町内産野菜の使用率（平成19年度21%）を、関係機関と連携を取りながら使用率の向上を図りたいと考えています。

今回は、上下水道課です。

～ テレビについての大切なお知らせ～

2011年（平成23年）7月24日までに今までのテレビ放送（地上アナログ放送）は終了し、それ以降は、アナログテレビをお使いの方は、そのままでは、新しいテレビ放送（地上デジタル放送）を見ることができません。（アナログ放送のテレビ画面には、右上に「アナログ」の表示があります。）

地上デジタル放送を視聴するためには、

- ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える
- ②地上デジタル放送対応のチューナーを買い足す
- ③地上デジタル放送対応済みのケーブルテレビに接続する

の方法があり、①と②はUHFアンテナ（従来の波佐見町内はアンテナのほとんどUHFです。）が必要です。

波佐見町内には、今年の8月に地上デジタル放送の中継局が開局予定となっており、正式に決定しましたらお知らせしますので、地上デジタル放送の準備をお願いします。

詳しくは { (社) デジタル放送推進協会 ホームページ <http://www.dpa.or.jp> や
総務省 地デジコールセンター ☎0570-07-0101 (ナビダイヤル)

平日 9:00～21:00、土日祝 9:00～18:00

へお問い合わせをお願いします。





【ご意見】

早期発見・早期治療といわれているにもかかわらず、婦人検診が来年度から2年に1回になるというのはどうしてですか？町の財政がどうにもならないのでしょうか？たとえそうしたら、町議員の定数は16名でなければ議会が成り立っていかないのでしょうか。自治会長会で定数減の話が出てそのままでした。無駄とは言えないかもしれませんが、もう少し町民の声を聞いてもらいたいです。

それと、検診後の異常なしの通知は、以前は放送されていましたが、今では一人ひとりに通知が届きません。それこそ無駄じゃないでしょうか。かえって、通知が届いたら開くまでドキドキして開く気にもなりません。そのような話をたびたび聞いています。以前のように放送はできないのでしょうか？

【町の回答 婦人がん検診について】

乳がん検診につきましては、平成16年に厚生労働省から出された「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」により2年に1回実施しています。この指針によりますと、対象者をこれまでの30歳以上から40歳以上の者へ変更したこと、受診回数も「2年に1回が適切」等が盛り込まれています。

特に受診の間隔においては、早期乳がん比率と中間期乳がん発生率からして2年に1回が妥当とされています。

また、子宮がん検診についてもこれまで受診された方には、平成22年度からは2年に1回の実施をお知らせしてきたところですが、実施にあたっては国からの指針は最大限尊重しながらも、受診頻度と有効性の関係や県内各町の実施状況等を十分考慮したいと考えています。

検診結果については、「異常なし」の方にはこれまで町からの放送でお知らせしていましたが、「放送設備がない」「不在だった」等の意見が寄せられ、できるだけ「個人通知がほしい」という要望が数多くありました。以上のことから受診されたすべての方に確実にお知らせする必要があることから「個人通知」といたしております。今回は、貴重なご意見をありがとうございました。

【議会の回答 議員定数について】

地方自治法において、波佐見町議会の議員定数は22人の法定数です。定数は、昭和58年に22人から20人に、更に平成4年に20人から18人、そして平成16年に18人から16人に削減され現在に至っています。

議員報酬は、平成12年に5%減額、更に平成17年に3%減額、平成18年度においては、財政状況に鑑み、現行報酬から3%～5%の減額措置を時限的に実施しました。このような現況下、定数及び報酬等の妥当性と波佐見町議会としてどうあるべきかを議論しました。

現在、本町においては、工業団地の開発と誘致企業の推進、周辺のインフラ整備、また窯業と農業の振興、高齢者及び障害者福祉の充実、少子化対策など行政の課題は山積しています。その内容は複雑多様化し、議会としては確実な監視とチェックを進め、議会活動、委員会活動を住民側に立ち積極的に進めていかななくてはなりません。よって、本議会も11月から新体制となり、今までの2委員会を3委員会とし、総務委員会6名、文教厚生委員会5名、産業建設委員会5名の配置で、それぞれの所管を深く掘り下げ、住民の目線で住民の幸を第一に考え活動して参ります。(詳細については、議会広報102号、103号に掲載しています)

～火のしまつ 君がしなくて 誰がする～

3月1日(日)～3月7日(土)

春の火災予防運動

3月1日から7日まで、全国一斉に春の火災予防運動が始まります。一年中で最も乾燥する時期をむかえ、火災も発生しやすくなりますので、火の取扱いには十分ご注意ください。

また、万が一火災が発生した場合、初期消火が一番肝心です。日頃から、家庭に備え付けてある消火器の位置や使用方法などの確認をお願いします。

《住宅用火災警報器》

火災による逃げ遅れを防止するため、火災警報器の設置が新築住宅は平成18年6月1日から義務づけられました。既存住宅も平成21年6月1日から義務化されます。設置にご協力ください。

平成20年中の佐世保市消防局管内火災発生件数

市町名	件数
波 佐 見 町	7
東 彼 杵 町	4
川 棚 町	6
佐 世 保 市	98
西 海 市	23
佐 々 町	6
小 値 賀 町	2
合 計	146



『110番の日』キャンペーン パトカー・白バイに乗車体験

1月10日、エレナ波佐見店の駐車場で「110番の日」キャンペーンが行われました。

このキャンペーンは、川棚警察署と波佐見交番が主体となって、適切な緊急通報の利用や飲酒運転撲滅、振り込め詐欺への注意などの啓発を目的として実施されています。

キャンペーンでは、停車中のパトカーや白バイ乗車の体験もあり、子どもだけではなく、時には大人も白バイに乗って記念撮影する姿も。参加した子どもたちは「カッコいい〜」と歓声を上げて、目を輝かせて見つめていました。



▲白バイに乗車して、ピシッと「敬礼！」

昔遊びを楽しむ

1月11日、「第3回 昭和おもしろ遊び塾」がやきもの公園で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

午前中には、羽子板の絵付け、凧や木の船などを作る体験を実施。おもちゃ作りの熟練の技を持つ方々、「遊びの達人」から指導を受けて、子どもたちは試行錯誤しながら作品を完成させていました。

午後からは、凧揚げで公園内を元気に走り回って大はしゃぎしたり、竹馬に挑戦したりして昔遊びを楽しんでいました。



▲昔遊びの1番人気『凧揚げ』

新春恒例 書き初め会

力強く筆走らせる

新学期が始まって間もない1月15日、南小で新春恒例の書き初め会があり、子どもたちが気持ちも新たに力強く筆を走らせました。

書き初め会は、書道への関心を深め、伝統を継承してもらおうと開催。6年生は、『伝統を守る』を先生からアドバイスを受けながら、真剣な表情で一画一画を丁寧に書き上げていました。



▲南小6年生の力強い書き初め『伝統を守る』

みんなの ひろば



はさみめぐりあい実行委員会イベント

宮殿でめぐりあい

このほど、はさみめぐりあい実行委員会が独身男女に出会いの場を提供するイベント『クリスマス宮殿でステキな出会いを！ by はさみ』が開催され、町内外から男性14名、女性17名が参加しました。

今回のイベントは、クリスマスの雰囲気を楽しんでもらおうと、有田ポーセリンパークの宮殿でパーティを開催。食事の後、男女1対1の会話を楽しんだり、じゃんけんゲームで波佐見焼のカップを争ったりと和やかな雰囲気で行われました。

カップリングでは、男女1組のカップルが誕生。その後の帰り道で仲良くなって、1組がお付き合いが始まるなど、今回は2組のカップルが誕生しました。



▲男女1対1の会話タイム。リラックスして大変盛り上がりしていました。
※プライバシー保護のため、参加者の顔を隠しています。



中田 ^{だい き}大翔くん
(井石郷)

H20.1.4生まれ
紘 孝子 さんの次男

※お兄ちゃんと仲良くね!

150会から波中野球部へ

波佐見町内外のゴルフ愛好者でつくる『親善ゴルフ・150会（疋田政臣会長）』から、3月に鹿児島県で開催される九州大会に出場する波佐見中学校野球部に、ボールケースとヘルメットケースが寄贈されました。

150会は、昭和62年に結成し、毎年偶数月の年6回ゴルフコンペを開催。会員からのチャリティー募金を3年前から開始し、「何かの役に立てれば」と計画されてきました。会員の松本秀行さん（協和）は、「今後もスポーツに限らず、小・中学生の活動を応援していきたい」と話されていました。



▲「親善ゴルフ・150会」から波佐見中学校野球部へ、ヘルメット・ボールケース寄贈

よい子つよい子元氣子

このコーナーでは、満1歳前後のこどもさんを募集しています。
掲載希望の方は役場商工企画課広報担当まで連絡してください。

松尾 ^{ゆう と}裕斗くん
(永尾郷)

H20.1.30生まれ
徳博 明子 さんの次男



※元気もりもり大きくな～れ

生涯学習のつどい

活力あるまちづくりをめざして



▲「ありがとう」と題して母親への感謝を語った百武奈菜子さん（東小）

1月25日、第8回波佐見町生涯学習のつどいが、総合文化会館で開催され、約500人が集まりました。

つどいでは、小学生から高校生の10人が登壇して「波佐見町の将来」や「スポーツで学んだこと」、「感謝」について力いっぱい話したり、小林善輝さん（小樽）と福田学さん（皿山）がそれぞれの実践活動を発表されました。

アトラクションでは、視覚・知的の障害を持ちながらも、幼い頃から音楽の才能を発揮し、独創性あるピアノや歌で活躍している掛屋剛志くんのコンサートも行われ、透き通った優しい声と演奏で、集まった観客を魅了しました。



▲優しい声とピアノで観客を魅了した掛屋剛志くん

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-------|--------------------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|----------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|--------------|------|---------------|-------|----------------|-------|--------------|-------|
| 子ら帰り床の水仙匂ひけり
(西陲句会) | 川添マサ子 | 荒れし手で幸せ祈る初詣
(波佐見若葉句会) | 山下 恵美 | 新しき顔の揃いて初句会 | 山口美由喜 | はらはらと夫の言葉か牡丹雪 | 安弘千鶴子 | 朝食に母の味なす大根めし | 森 小夜子 | 一年のすすをはらいて福を待つ | 松村すすな | 顔集い心通わす炬燵かな | 松添 信子 | 寒椿植えて別れの碑となりぬ | 古川 恭子 | 荒風の街を素通る師走かな | 田崎 學 | 洪滞の尾燈つらなり街しぐる | 田崎 房代 | 今日の無事先ず記したる初日記 | 河内ハルエ | 無人駅眼下はるかに冬の海 | 川崎 三郎 |
|------------------------|-------|--------------------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|----------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|--------------|------|---------------|-------|----------------|-------|--------------|-------|



広報文芸

波中ソフト部から県選抜 3月全国大会出場

波佐見中学校2年
石井美沙樹さん(宿)



3月28日から31日まで三重県の熊野市で開催される、第5回都道府県対抗全国ソフトボール大会に、本県選抜メンバーとして、波佐見中学校ソフトボール部の石井美沙樹さんが出場します。

石井さんは、昨年実施された一次、二次の厳しい選手選

考会を見事に突破し、少数精鋭13名の全国メンバーに選出されました。

波中ソフト部で石井さんは、キャプテンとして、また守備の司令塔であるキャッチャーとしてチームを引っ張っています。さらに、どのポジションでも守る抜群のセンスの持ち主で、県選抜チームでのポジションは、ショートとしての活躍が期待されています。

「全国大会という貴重な経験ができることに感謝します。出場するからには、目指すは全国制覇。自分のプレーでチームを引っ張りたい」と石井さんは全国大会への抱負を語ってくれました。



▲波中ソフト部で、キャプテンとして部員からの信頼も厚い石井さん



4月29日 祝 波佐見陶器まつりロードレース大会 参加者募集

開会式(体育センター) 9:00~ 競技開始 9:30~

- ◆種目
 - 【1.5km】 小学1・2年(男・女)、小学3・4年(男・女)、小学5・6年(男・女)
 - 【3km】 中学1年(男・女)、中学2・3年(男・女)、高校女子、一般女子、40歳以上女子、60歳以上男子
 - 【10km】 高校(男・女)、一般(男・女)、40歳以上男子、60歳以上男子
- ◆参加料 小・中学生、高校生：1,000円 一般：2,500円
- ◆申込用紙 申込用紙は町総合文化会館・役場にあり。遠方の方へは、申込用紙の郵送もできます。団体申込も可能ですので、事務局へお問い合わせください。
- ◆締め切り 4月8日(水)まで
- ◆問い合わせ先 町体育協会事務局(総合文化会館内) ☎85-2034

三年間の結実

【I】卒業制作展

陶芸デザインコース三年生による卒業制作展が、佐世保市の島瀬美術センター(1月16日~18日)と町総合文化会館(2月5日~7日)で開催されました。

この卒業制作展も今回で12回目となりますが、これまでで一番多くの入場者数となりました。毎年この展覧会を楽しみに足を運んでくださる方も多く、生徒たちにとっては暖かく貴重な感想・意見をいただけようです。



写真① 卒業制作展

【II】意見発表会

1月25日、町総合文化会館で本校三年生の本山裕基君と岳野凌子さんが、生涯学習のついでで意見発表を行いました。

本山君は「自分を信じ、仲間を信じる心」と題し、野球を通して学び、成長できたこと、岳野さんは「私の挑戦・そして学んだこと」と題して、美術部・放送部・図書文芸同好会に所属し活動した三年間の果敢な挑戦を発表してくれました。(写真②、③)

本山君は教師を目指し、長崎大学教育学部へ、岳野さんは図書館事務への新たな挑戦を胸に佐世保高等技術専門学校O.A.ビジネス科へ進学します。



写真③ 岳野凌子さん



写真② 本山裕基君



病氣一口メモ

271号

動脈硬化と高血圧の話

長崎神経医療センター 吉田和朗 (川棚町)



人の寿命を左右するものの一つとして、最近血管の老化が注目されています。血管とは血液を循環させ栄養分や酸素を絶え間なく細胞に運び入れ不要物を運び去るための、文字どおり生命の大動脈であります。老化が進んできますと血管は細く堅くなり、更に進むと詰まったり破れたりという深刻な事態に至ってしまいます。血管をなるべく老化させないことが、「元気で長生き」を目指す上で大切なことであります。

今日はこのなかで高血圧についてお話しします。高血圧は別名「沈黙の殺人者」と呼ばれています。これは血圧が高いというだけではあまり症状がなく存在に気づきにくいのですが、放置しておくと知らないうちにジワジワと血管を老化させていき、そして脳梗塞・脳出血や狭心症・心筋梗塞、また腎不全や心不全など生死に関わる障碍が起こったときに初めてその存在に気づく場合があるからです。

最近では高血圧の治療法もずいぶん進歩しました。日本では高血圧学会(※)が多くデータのタをもとに治療のガイドラインを作っており、血圧の程度や生活習慣病の有無、腎臓や心臓の病気の程度などによって、治療の方法や生活習慣の是正など具体的な目標が示されており、一人ひとりの健康状態にあった治療を進める時代になってきました。

しかし、ご自分の血圧を測る機会がなければ結果的に高血圧を見逃してしまい、せっかくの治療の進歩が充分に生かされません。最近血圧を測ったことのないという方は結構いらっしゃると思います。血圧は年齢とともに高くなりますので、時に自分の血圧を知ることがとても大事です。思い当たる方はぜひ血圧を測る機会を作ってください。市販の血圧計で測ってみる、あるいは検診を受け、お近くの病院に相談してみるのも結構かと存じます。もちろん私どもにもお気軽にご相談ください。

血管の老化を進めるものとして喫煙・肥満・運動不足など生活習慣によるものと、高血圧・糖尿病など生活習慣病と言われるものが挙げられます。生活習慣はご自分の意志で変えていくことが可能なものですが、生活習慣病

程度などによって、治療の方法や生活習慣の是正など具体的な目標が示されており、一人ひとりの健康状態にあった治療を進める時代になってきました。

しかし、ご自分の血圧を測る機会がなければ結果的に高血圧を見逃してしまい、せっかくの治療の進歩が充分に生かされません。最近血圧を測ったことのないという方は結構いらっしゃると思います。血圧は年齢とともに高くなりますので、時に自分の血圧を知ることがとても大事です。思い当たる方はぜひ血圧を測る機会を作ってください。市販の血圧計で測ってみる、あるいは検診を受け、お近くの病院に相談してみるのも結構かと存じます。もちろん私どもにもお気軽にご相談ください。

※日本高血圧学会ホームページ http://www.jpnh.org/general_ind.html

こんにちは保健師です
マタニティマークをご存知ですか？

マタニティマークは、妊産婦さんへの思いやりをマークにしたものです。

妊娠中、特に妊娠初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためにも大切な時期です。つらい症状がある場合もありますが、外見からは妊婦であるかどうか分かりにくく、周囲からの理解が得られにくいことから、このマークがつくられました。
このマークを身につけている妊産婦さんを見かけたら、思いやりのあるお心遣いをお願いします。



☆妊婦さんの近くでの喫煙はご遠慮ください。
☆電車やバス、病院などで優先的に席をお譲りください。
☆妊婦さんにぶつからないようにお気をつけください。
☆「お手伝いしましょうか？」の優しい一言を。

町では母子健康手帳交付時にマタニティマークのチェーンホルダーを配布しています。カバンなどに簡単につけることができます。妊産婦さん自身もこのマークを身につけて、自分自身と小さな命を大切にしましょう。

健康テレホンプログラム
佐世保 ☎23-4300

2月

月 新型インフルエンザ

火 高齢者の脱腸

水 がんこな咳が続く子ども

木 花粉症の予防

金 歯並びの治療を始める時期

土 10代の性感染症

3月

月 若者のはしか

火 関節リウマチの早期診断と治療

水 小学校入学を前にしての注意点

木 春に多い目の病気

金 境界性人格障害

土 くり返す膀胱炎

*祝祭日は前日のテープが流れます。

自衛官募集（予備自衛官補）

●受験資格

【一般公募】

平成21年7月1日現在、18歳以上で34歳未満の方

【技能公募】

平成21年7月1日現在、18歳以上で保有する国家免許資格等により55歳未満の方

●受付期間

一般・技能ともに4月13日（月）まで

●試験期日

一般・技能ともに4月18日～20日のうち、いずれか1日を指定

●問い合わせ先

自衛隊大村地域事務所 ☎0957-52-6217

臨時的任用教職員の募集

育児休業などによる代替教員を臨時に任用するため、教員免許などをお持ちの方（事務職員は免許不要）の名簿登録をお願いします。

●募集内容

公立小・中学校、県立学校の臨時教職員

●問い合わせ先

県義務教育課（小・中学校） ☎095-894-3376

県高校教育課（県立学校） ☎095-894-3358

県教職員課（事務職員） ☎095-894-3334

石綿健康被害の救済に関する法律の一部改正

石綿（アスベスト）による疾病（肺がん、中皮腫など）で死亡した労働者の遺族で、労災保険法の遺族補償給付を受ける権利が時効により消滅した方に対しては、特別遺族給付金が支給されています。

今般、法律の一部が改正され、

①請求期限が平成24年3月27日までに延長

②平成18年3月26日までに亡くなられた労働者のご遺族の方へと対象が拡大

となりましたので、心当たりのある方は、ご連絡ください。

●問い合わせ先

長崎労働局労災補償課 ☎095-801-0034

労使間トラブル解決の「あっせん」

労働者個人と事業主の労働条件などのトラブルについては、県の労働相談情報センターで相談に応じており、県労働委員会の委員（弁護士等）による「あっせん」の制度を利用することもできます。

●問い合わせ先

長崎労働相談情報センター ☎095-821-1457

ながさき県民参加の森林づくり事業（公募）

ながさき森林環境税による森林づくり活動を募集します。本活動は、森林に対する理解を深め、県民参加による森林づくりを進めるために、地域の皆さんや団体、法人などが21年度中に自ら取り組まれる森林づくり活動や森林整備活動等を広く募集し、『ながさき森林環境税』を活用して助成するものです。

●対象となる活動

- ・森林保全に関する県民意識の啓発
- ・安全・安心の向上を目指す森林整備
- ・海の活力向上を目指す森林整備
- ・次世代健全育成のための森林づくり
- ・自立的な森林管理の支援

●限度額について

1件あたり20万円以上200万円以下

（ただし、広域的で事業効果が高いと認められるものについては、この限りではありません。）

●注意事項

同一団体の応募は、同一年度内1件限りとします。

●応募期間

一次募集：2月16日（月）～3月31日（火）

二次募集：5月～6月頃

●問い合わせ先

県林務課 計画調整班 ☎095-895-2983

交通安全指導員募集

●職 種

長崎県交通安全協会 交通安全指導員

●募集人数

1名

●勤務場所

川棚地区交通安全協会（川棚警察署3階）

●雇用期間

1年（年度中途採用を除く）、以後更新制度があります。

●応募資格

- ・18歳以上で東彼杵郡内に居住する方
- ・平成21年3月高校卒業見込みの方、又は高校卒業程度の学力を有する方
- ・普通免許を有する、又は取得予定の方（AT限定を除く）

●応募方法

交通安全指導員採用申込書（安全協会備付）に市販の履歴書（上半身写真添付）を添えて、川棚地区交通安全協会に提出。

●締切期日

3月2日（月）

●問い合わせ先

川棚地区交通安全協会 ☎83-2236

法テラスをご存知ですか？

法律上のトラブルを解決するために役立つ法制度や、最適な相談機関を無料で紹介します。まずは、法テラスコールセンターへお気軽にご相談ください。

●問い合わせ先

法テラスコールセンター【一般相談】☎0570-078374

法テラスコールセンター【犯罪被害者相談】☎0570-079714

軽自動車(原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自転車)の名義変更・廃車の手続きはお早めに

軽自動車税は、毎年4月1日現在の所有者にかかる税金で、所有権留保付売買(ローンを組んだ際に、クレジット会社等に所有権がある売買)については、買主が納税義務者となります。異動(転入・転出・名義変更等)がある場合は、下記のように手続きをお願いします。

車種(排気量)	手続き場所及び問い合わせ先
原動機付自転車 (125cc以下)	波佐見町役場税務課または、最寄りの市町村役場 【名義変更に必要なもの】 新・旧所有者の印鑑 自賠責保険証書(車体番号がわかるもの) 【廃車に必要なもの】 波佐見町のナンバープレート、印鑑 ※ナンバープレートをお持ちでない方は、別途300円が必要です。 波佐見町役場税務課 ☎85-2111
小型特殊自転車 (トラクターなど)	
軽三輪車・軽四輪車 (660cc以下)	軽自動車検査協会 長崎事務所佐世保支所 ☎32-5865
軽二輪車 (125~250cc以下)	
二輪の小型自動車 (250cc以上)	九州運輸局 長崎運輸支局 佐世保自動車検査登録事務所 ☎31-8048

◎軽自動車税の減免について

身体が不自由な方などのために、軽自動車税の減免措置があります。軽自動車等で一定の要件(障害の程度や使用目的)に該当する場合、4月2日から納期限の7日前までの申請で軽自動車税が減免されます。

波佐見町図書館だより

今月の新着本

武田知弘著
彩図社



戦前の日本
教科書には載っていない!

国会議員にヤクザの親分がいた、戦前の日本は貿易大国だった、過酷で激しい受験戦争、消滅した巨大都市…。古くて新しい、不思議な戦前の日本の暮らしがわかる、驚きの34エピソードを収録。

谷川俊太郎詩
田淵章三写真
佼成出版社



子どもたちの遺言

大人よりもはるかに死から遠い子どもが大人に向かって遺言を書くという発想から生まれた詩集。生まれたばかりの赤ちゃんから、成人式を迎えた若者まで、生き生きとした子どもたちの姿を捉えた写真が印象的。

多森サクミ著
家の光協会



炊飯器で超かんたん
ふんわり米粉パン
小麦粉・卵・乳製品ゼロ

米粉100%で安心!今までにないやわらか食感に感動!失敗しがちな発酵から焼きあげまで、ゼーンぶ炊飯器におまかせできる、ふんわり米粉パンのレシピ集。アレンジレシピやスイーツレシピも紹介。

津原泰水著
文藝春秋



たまさか人形堂物語

祖母の形見の零細人形店を継ぐことになったリストラOLの漆。人形マニアの冨永くん、謎の職人・師村さんとともに、人形にまつわる謎を解決するほのぼの短編集。『Beth』連載を大幅に改稿、改題して単行本化。

振り込め詐欺にご注意!

「ねんきん特別便」のお届けについて、電話でコンビニエンスストアなどのATM(現金自動預け払い機)の操作をお願いすることはありません。詐欺にご注意ください。

社会保険事務所の職員と名乗り、「年金保険料を重複して納めていたため還付することになった」「還付するのでATMコーナーに行きフリーダイヤルに電話するように」等の連絡・指示があり、相手の指定する口座に振り込んでしまった事例が報告されています。

不審な電話があった場合は、ATMの操作を行ったり、個人情報をお教えせず、お近くの社会保険事務所等へお問い合わせください。

●問い合わせ先

諫早社会保険事務所 ☎0957-25-1666

自動車事故被害者援護制度

自動車事故により死亡又は重度の後遺障害が残った方や、そのお子様に対する育成資金の貸付(無利子)または、自動車事故により介護を必要とする重度後遺障害者を抱えるご家族の精神的・肉体的並びに経済的負担を軽減するための介護料支給等が行われています。

●問い合わせ先

独立行政法人 自動車事故対策機構
☎095-821-8853

宝くじの購入は長崎県内で

グリーンジャンボ宝くじが、2月16日から3月6日まで発売されます。県内で販売された宝くじの収益金は、道路や学校、公園の整備など県内のさまざまな事業に役立てられます。宝くじは県内で購入しましょう。

町の事業

◎1月に発注した事業です。

《事業費130万円以上》

- ▶波佐見温泉・新泉源湯設備工事 31,500,000円 西海地研(株)
- ▶波佐見町ランドマーク(籠原煙突)整備工事 4,693,500円 (株)谷村建設工業
- ▶町道山口線道路舗装工事 1,890,000円 西部道路(株)

みんなで楽しくボランティアに触れよう！

～ボランティア連絡協議会主催「あったか福祉まつり」を開催します～

町内のボランティア団体で組織する波佐見町ボランティア連絡協議会では、他の団体との交流を深めるとともに、ボランティアに興味がある一般の方に対しても、ボランティア活動を身近に感じてもらうことを目的として、『あったか福祉まつり』を開催します。

「忙しいからボランティアができない」と思っている方、そして、「関心はあるけど、どんなボランティアがあるのかわからない」と思っている方、ぜひ足を運んでみませんか？

あったか福祉まつり 開催要項

日 時：平成21年 3月 7日(土) 13:30～16:30 (13:00受付開始)

場 所：波佐見町総合文化会館 小ホール

対 象：ボランティアに関心のある方
波佐見町ボランティア連絡協議会会員など

参加費：使用済み切手、書き損じハガキ、使用済みプリペイドカード
のうち、いずれか1枚以上お持ち下さい。

内 容：①講話『みんなでボランティア』

(講師 長崎県社会福祉協議会ボランティア振興課長 岩永秀徳さん)

②『お手玉遊び教室』(もってこい長崎レクリエーショングループ「お手玉の会」)
お手玉遊びで脳活性化!? 世代を超えた交流を楽しみませんか。

③みんなでわいわい♪福祉クイズ

身近な福祉のことについて、みんなで楽しく考えてみましょう。

賞品もたくさん用意していますよ！



＜お問い合わせ先＞
波佐見町社会福祉協議会
TEL85-2240

相手の立場になって考えよう ～東小学校 福祉体験～

1月31日、東小学校4年生 35名を対象に、車いす・アイマスク体験と高齢者疑似体験を行いました。

障がいのある方と介助する側のそれぞれの立場になって、不便さを実感し、どうすれば解消できるか考えてもらいました。

体験のあと、「目や足が不自由だと不安になるけど、助けてくれる人がいたら安心する」という声もありました。

障がいのある方や高齢な方、幼い子供とその親など、困っている様子を見かけたら声をかけるなど、自分たちでできることから実践して、今回学んだことを生かしてくれたらと思います。



“古切手仕分けボランティア” 活動スタート

波佐見からハケミ1本で
国際協力をしよう!

1月より波佐見高校生6名による、「古切手仕分けボランティア」の活動を開始しました。古切手の仕分け方、切り取り方、そして仕分けをした古切手の行き先などの説明を受けた後、早速作業開始。

みなさまから頂いた数多くの切手の中から、きれいな絵柄や、かわいいキャラクターの切手、珍しい外国切手などを見つけることが楽しみになっています。

ときにはおしゃべりを弾ませながらも、真剣な眼差しで切手仕分け作業に臨んでいます。

今後も高校生のペースに合わせて活動を進めて行きたいと思っております。



活動の様子

善意の窓

◆香典返しにかえて

- 折敷瀬郷 志方 京子 様
(御主人故志方久治様)
- 金屋郷 大分キミ子 様
(御主人故大分七五三市様)
- 志折郷 山田 勝 様
(御母堂故山田ツマ様)
- 稗木場郷 吉田 則洋 様
(御尊父故吉田勝一様)
- 甲長野郷 山口 秀幸 様
(御祖母故山口春江様)
- 乙長野郷 平野 徹 様
(御母堂故平野ヨウ様)
- 井石郷 森 輝 様
(御母堂故森ノブエ様)
- 折敷瀬郷 山口 一朗 様
(御母堂故山口孝子様)
- 宿郷 川上ミヨ子 様
(御主人故川上實雄様)
- 野々川郷 岸川ミサエ 様
(御母堂故岸川トキ様)

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。

波佐見町社会福祉協議会

感謝の広場

◆収集ボランティア

- (切手・書き損じはがき・カード等)
- 株式会社 あかり 様 (井石郷)
 - 松 添 裕 子 様 (甲長野郷)
 - 納 富 政 彦 様 (宿郷)
 - 八並整形外科 様 (志折郷)
 - 松 尾 智 子 様 (村木郷)
 - 有限会社 筒井商店 様 (村木郷)
 - 長崎県県北振興局 様 (佐世保市)
 - 商工水産部商工観光課 様 (村木郷)
 - 三 根 シズヨ 様 (折敷瀬郷)
 - 田 島 清 人 様 (田ノ頭郷)
 - 志 方 酒 店 様 (折敷瀬郷)
 - 田 ノ 頭 老 和 会 様
 - 社会福祉法人 松葉保育園 様
 - 湯 無 田 郷 下 長 寿 会 様
 - 波 佐 見 町 婦 人 会 様
 - 波 佐 見 町 役 場 ・ 商 工 企 画 課 様
 - 波 佐 見 町 役 場 ・ 保 健 衛 生 課 様
 - 匿 名 希 望 ・ 六 名 様

皆様のご協力に感謝いたします。
波佐見町ボランティア連絡協議会

くお詫びと訂正
1月号「善意の窓・香典返しにかえて」に誤りがありました。
(誤) 御尊父故一瀬勝治 様
(正) 御子息故一瀬勝治 様
大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正させていただきます。

辺鄙のひとりごと

波佐見町教育委員会 学芸員 中野雄二

第11回 青磁の時代②

「青磁の時代」は、今から約350年前、三股地区で花開きました。その主役を演じた窯は、前回紹介しました三股古窯と、その隣に位置する三股青磁窯（国史跡）です。

両窯は発掘調査され、物原から出土した大量の失敗品から、磁器、中でも青磁を盛んに生産していたことが判明しています。



▲三股青磁窯の発掘風景（平成9年）

それでは、当時、三股で産み出された青磁をみていきましょう。

三股の青磁は、その釉の色合いに特徴があります。他産地の青磁は、緑が深い青色や、緑に黄・茶を混ぜたオリブ色など、シックで落ち着いた感じのものが一般的です。

しかし、三股の青磁の場合、わずかに緑を含んだ淡い青色を基本とし、表面には透明感のある光沢をまとうものが多く、その色合いからは、「落ち着き」よりも「清浄さや瑞々しさを感じ取ることが出来ます。『清らかな泉』が私の中のイメージです。

装飾技法については、工具等で器の表面を彫って文様をあらわす「陰刻」が多用されていました。



▲三股青磁窯の物原調査 数万点の青磁片が出土

当時の職人達は、器が完全に乾ききる前に、短時間で構図を定め、一気に彫り上げていたと考えられます。

その卓越した技がもたらす躍動感あふれる文様は、職人の息吹とともに、透き通った釉の下に静かに、そして、永遠に刻まれています。



▲三股青磁（カラーでお見せできないのが残念です）

波佐見 農家レストラン

ネーミング・自慢料理大募集



地域農業の活性化を促し、地元でとれた新鮮で安心安全な農産物を使う農家レストランが、新温泉施設の中に4月下旬にオープン予定です。その農家レストラン開業準備に伴い、広く町民の皆さんからレストランの名称（ネーミング）、メニューとなる自慢料理（郷土料理）などを大募集します。

●募集内容

◆ネーミング部門

名称、簡単な理由、氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、電話番号をハガキに明記し、応募してください。応募点数の制限はありません。

◆自慢料理部門

名称、料理のレシピ、料理の写真、氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、電話番号をハガキに明記し、応募してください。応募点数の制限はありません。

◆農産物を提供してもらえる方

2月25日（水）19時から農村環境改善センターで説明会が開催されます。

●締切 3月6日（金）※当日消印有効

●諸権利 採用作品は、主催者の（株）はさみ温泉ファームに帰属します。

●応募先及び問い合わせ先

〒859-3725 波佐見町長野郷558-3

（株）はさみ温泉ファーム（株式会社松下建設内 担当 松下）

☎85-2330 F A X 85-7319





戸籍の窓

(敬称略)

お誕生おめでとう

富永万季奈	富永依奈	吉武愛莉紗	中尾尊仁	福井美唯	松岡柚葵	松田志郎	牟田楓蓮	安藤綾音
保護者	住所	淳也	野々川郷	野々川郷	湯無田郷	折敷瀬郷	宿郷	宿郷
孝一	貴弘	昌治	守	善之	和宏	淳也	野々川郷	野々川郷
隆嗣	村木郷	宿郷	宿郷	折敷瀬郷	湯無田郷	折敷瀬郷	宿郷	宿郷

結婚おめでとう

山崎英哉	吉田千佳	林史敬	竹下和美
折敷瀬郷	折敷瀬郷	宿郷	宿郷
折敷瀬郷	折敷瀬郷	宿郷	宿郷
折敷瀬郷	折敷瀬郷	宿郷	宿郷

おくやみ申し上げます

森山代典	80歳	永尾郷
辻田榮	84歳	折敷瀬郷

よい子つよい子元気子

掲載写真募集！！

『みんなのひろば よい子つよい子元気子』のコーナーでは、満1歳前後のお子さんの写真を毎月募集しています。

掲載を希望される方は、役場広報担当へご連絡ください。

役場商工企画課 ☎85-2111 (内線223)

人のうごき (1月末)

人口	15,376人 (+32)
男	7,216人
女	8,160人
世帯数	4,866世帯 (+12)
転入	65人
転出	31人
出生	10人
死亡	12人
	() は前月比

「戸籍の窓」に掲載する出生、婚姻、死亡は掲載希望を申し出された方のみ掲載させていただきます。
掲載を希望される方は、住民福祉課戸籍係 (☎85-2111) へご連絡ください。

平成20年12月における犯罪発生状況

		波佐見町	東彼杵郡内
12月中発生件数		2	13
犯罪別認知件数	凶悪犯	0	2
	粗暴犯	0	11
	窃盗犯	49	132
	知能犯	1	14
	風俗犯	1	2
	その他	11	34
平成20年発生総数		62	195

休日在宅当番医	日	病院	電話番号
	2月22日	波佐見病院 (波佐見)	85-7021
	3月1日	にいむら整形外科 (川棚)	82-6565
	8日	実松整形外科医院 (東彼杵)	0957-47-0278
	15日	みやた小児科医院 (川棚)	82-3735
	20日	小鳥居病院 (波佐見)	85-3408
	22日	鈴木病院 (東彼杵)	0957-46-0145
	29日	中村内科医院 (波佐見)	85-7325

※診療時間・・・9:00~17:00

交通事故発生状況

平成21年1月末現在 (H21.1~)
※ () は昨年同時期比

	波佐見町	川棚町	東彼杵町	東彼杵郡内
人傷件数	2 (-5)	5 (±0)	7 (+7)	14 (+2)
死者	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)
傷者	2 (-5)	8 (+1)	15 (+15)	25 (+11)
物損事故	12 (±0)	18 (+4)	23 (+16)	53 (+20)
飲酒	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)

1月に発生した町内事故の特徴

早朝、薄暮時間帯における右折車と直進車との衝突事故や追突事故が発生。

【広告】

広報波佐見に 広告を掲載しませんか

町内商工業の振興、生活情報の提供のため、広報波佐見に掲載する広告を募集しています。

- 掲載方法 広報波佐見 (暮らしと情報・窓) の下1段に掲載
- 広告掲載料 縦5.5cm×横9cm 月額5,000円
縦5.5cm×横18cm 月額10,000円
- 問い合わせ先 役場商工企画課 広報担当 ☎85-2111

贈答品
お酒

いいもの、安心できるものを、お求め安く
お中元・お歳暮
慶弔引き出物・記念品



ピカピカ堂

長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷 433
TEL 0956-85-2275

暮らしのカレンダー

2月13日(金)～3月31日(火)

2月 (FEBRUARY)

★・波佐見町 図書館休館日
 ◎・絵本読み語り (10:30～総合文化会館)

SUN(日)	MON(月)	TUE(火)	WED(水)	THU(木)	FRI(金)	SAT(土)
子ども予防接種週間 (28日～3月8日)						14◎
15	16★	17	18 雨水	19★ 食育の日	20	21
22	23★	24	25	26	27	28

3月 (MARCH)

★・波佐見町 図書館休館日
 ◎・絵本読み語り (10:30～総合文化会館)

SUN(日)	MON(月)	TUE(火)	WED(水)	THU(木)	FRI(金)	SAT(土)
1	2★	3 ひな祭 耳の日	4	5	6	7 消防記念日
8 国際婦人デー	9★	10	11	12	13	14◎
15	16★	17 波中卒業式 彼岸入り	18 小学校卒業式	19★ 食育の日	20★ 春分の日	21
22	23★ 彼岸明け	24 修了式	25 電気記念日	26	27	28
29	30★	31	全国緑化運動(1日) 女性の健康週間(1日～8日) 世界結核デー(24日)			

けんこう

母子手帳交付 { 3月2日(月) 波佐見町役場 9:30～11:00
 3月16日(月) 波佐見町役場 9:30～11:00

乳児健康相談 [H20年8月生] 3月6日(金) 総合文化会館 9:30～10:30受付
 [H20年11月26日～12月25日生] 3月25日(水) 総合文化会館 13:30～14:00受付

2歳児歯科健診 [H18年7月～10月生] 3月10日(火) 総合文化会館 13:00～13:20受付

3歳児健診 [H17年7月21日～9月生] 3月11日(水) 総合文化会館 13:00～13:20受付

子育てサークル { 3月12日(木) 勤労福祉会館 10:00～
 3月26日(木) 勤労福祉会館 10:00～

健康相談 3月3日(火) 波佐見町役場 13:00～15:30
 妊婦教室 3月17日(火) 総合文化会館 13:30～15:30

【ポリオ予防接種】 <生後3か月～90か月未満>
 3月4日(水) 14:00～14:30 総合文化会館

【認知症高齢者家族会】
 3月10日(火) 13:30～15:30 総合文化会館

そうだん

心配ごと相談 (町社会福祉協議会 ☎85-2240)
 ◎水曜：役場第5会議室 ◎土曜：総合文化会館
 2月18日(水)13:30～16:00 ◎相談員 峯 巖;石橋安幸
 25日(水)13:30～16:00 ◎相談員 長崎重信;安武敬子
 28日(土)9:30～11:30 ◎相談員 山崎章三;石橋安幸
 3月4日(水)13:30～16:00 ◎相談員 長崎重信
 11日(水)13:30～16:00 ◎相談員 安武敬子;石橋安幸
 18日(水)13:30～16:00 ◎相談員 安武敬子;石橋安幸
 25日(水)13:30～16:00 ◎相談員 山崎章三;峯 巖
 28日(土)9:30～11:30 ◎相談員 村川昭次;石橋安幸

※2月28日はひとり親相談と合同。
 ※相談員は変更になる場合があります。
 ※村川相談員が入る相談日は行政相談も含まれます。

人権相談 (役場相談室) 10:00～16:00
 3月4日(水) ◎相談員 人権擁護委員(中村節子、藤上恵子)

年金相談 (役場相談室) 10:00～15:00
 3月6日(金) ◎相談員 謙早社会保険事務所相談専門員

弁護士相談 ※予約が必要です (町社会福祉協議会 ☎85-2240)
 3月14日(土) ◎相談員 斎藤信隆弁護士

夜間納税相談 (役場相談室ほか) 17:15～20:00
 3月10日(火)・3月25日(水) ◎相談員 税務課及び保健衛生課職員

来月の納金(3月)

●固定資産税 ●国民健康保険料 ●水道使用料 ●介護保険料

●2月の口座振替日は25日です

献血にご協力ください

日 時	場 所
3月9日(月)	9:15～11:30 波佐見町役場
	12:00～13:00 重山陶器(株)
	14:30～16:30 波佐見病院

催し物

町壮年会 駅伝大会 2月22日(日) 農村環境改善センタースタート・ゴール
 町民音楽祭 2月22日(日) 総合文化会館
 東彼杵中学校バレーボール大会 2月28日(土)・3月1日(日) 体育センターほか
 西日本軟式野球大会 3月1日(日) 鴻ノ巣グラウンド
 学童野球連盟開幕戦 3月1日(日) 甲辰園グラウンド
 波佐見町サッカー大会 3月1日(日) 波佐見中学校グラウンド
 町民バスケットボール大会 3月8日(日) 体育センター
 中学軟式野球波佐見選手権大会 3月8日(日)・3月15日(日) 鴻ノ巣グラウンドほか
 町グラウンドゴルフ協会レディース大会 3月14日(土) 鴻ノ巣グラウンド
 隣接中学校バスケットボール大会 3月21日(土)・22日(日) 体育センターほか
 全日本学童軟式野球大会 3月29日(日) 鴻ノ巣グラウンド

みんなで歩こうヘルシーウォーク

健康づくりのため、誰でも・どこでもできるウォーキングを始めませんか?『桜づつみウォーキング』を行いますので、ご家族そろって参加してください。
 ◆日 時 3月1日(日) 8:30～8:50受付 9:00スタート
 ◆距 離 およそ6km
 ◆集合場所 宿コミュニティセンター
 ◎申し込みは不要ですが、体調については各自の責任で参加してください。
 ◎参加賞があります。
 ●問い合わせ先 役場保健衛生課 健康増進係 ☎85-2111 (内線132～134)



はさみめぐりあいイベント 『春!ことしこそ!』

日 時: 3月8日(日) 15時～
 対 象: 男性40歳以上、女性30歳以上
 鍋を囲んで楽しいパーティー
 詳細: はさみめぐりあい実行委員会 ☎85-2000

